



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6396 URL <https://www.unozawa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高木 貴温 (TEL) 03-3759-4191  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,517	8.1	636	43.1	653	39.3	424	20.3
2023年3月期	5,105	16.5	444	73.5	468	74.2	352	116.6

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	384.06	—	15.1	7.8	11.5
2023年3月期	319.18	—	14.9	6.1	8.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	8,788	3,075	35.0	2,784.49
2023年3月期	7,887	2,533	32.1	2,294.05

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,075百万円 2023年3月期 2,533百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	445	△129	△176	2,545
2023年3月期	457	△525	△81	2,405

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	55	15.7	2.3
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	55	13.0	2.0
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		15.8	

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,500	△7.6	240	△16.4	240	△19.2	160	△13.9	144.87
通期	5,100	△7.6	500	△21.4	510	△21.9	350	△17.5	316.90

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	1,120,000 株	2023年3月期	1,120,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期	15,549 株	2023年3月期	15,487 株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	1,104,492 株	2023年3月期	1,104,513 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	10
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(持分法損益等) .....	16
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しました。一方、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢等地政学リスク、資源・エネルギー及び原材料価格の高止まり、世界的な金融引締めなどによる景気下振れが懸念され、引き続き先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、製造事業の業績が改善し、会社全体として増収増益となりました。売上高は5,517百万円(前年同期比8.1%増)となりました。損益面におきましては、営業利益636百万円(前年同期比43.1%増)、経常利益653百万円(前年同期比39.3%増)、当期純利益424百万円(前年同期比20.3%増)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### ① 製造事業

真空ポンプの売上が一般産業機械及び半導体製造装置向けで増加し、製造事業の売上高は前年同期比423百万円増加の4,876百万円(前年同期比9.5%増)となりました。損益面におきましては、セグメント利益169百万円(前年同期はセグメント損失51百万円)と前年同期比増益となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは2,545百万円(前年同期比15.2%増)、送風機・圧縮機は960百万円(前年同期比5.5%減)、部品は805百万円(前年同期比3.4%増)、修理は563百万円(前年同期比26.2%増)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、売上高は535百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

#### ② 不動産事業

売上高641百万円(前年同期比1.8%減)、セグメント利益467百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は900百万円増加し8,788百万円、負債は359百万円増加し5,713百万円、純資産は541百万円増加し3,075百万円となりました。

総資産の増加は、現金及び預金が139百万円、電子記録債権が124百万円、売掛金が259百万円、投資有価証券が248百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が121百万円減少したものの、電子記録債務が202百万円、未払金が201百万円、未払法人税等が61百万円増加したこと等が主な要因です。

純資産の増加は、利益剰余金が368百万円、その他有価証券評価差額金が172百万円増加したこと等が主な要因です。

この結果、自己資本比率は35.0%(前事業年度末は32.1%)となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ139百万円増加し、2,545百万円となりました。

当事業年度における各区分ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及び契約資産の増加401百万円、棚卸資産の増加86百万円等の減少要因があったものの、税引前当期純利益643百万円、減価償却費211百万円、仕入債務の増加99百万円等の増加要因により、445百万円の資金の増加（前年同期は457百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出114百万円等により、129百万円の資金の減少（前年同期は525百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入762百万円、長期借入金の返済による支出883百万円、配当金の支払54百万円等により、176百万円の資金の減少（前年同期は81百万円の資金の減少）となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	26.6	29.3	30.0	32.1	35.0
時価ベースの 自己資本比率 (%)	35.2	41.9	37.8	35.7	39.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	8.2	5.9	5.0	5.5	5.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	13.2	21.0	26.3	25.0	28.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しとしましては、経済社会活動の正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢等地政学リスク、資源・エネルギー及び原材料価格の高止まり、世界的な金融引締めなどによる景気下振れが懸念され、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移するとみられます。そのような環境のなか、受注の確保に努め、利益を計上してまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,405,969	2,545,800
受取手形	109,357	120,603
電子記録債権	750,525	874,654
売掛金	832,988	1,092,292
契約資産	18,769	25,350
製品	70,763	78,446
仕掛品	347,488	402,427
原材料及び貯蔵品	577,574	601,169
前渡金	39	215
前払費用	16,922	16,176
未収入金	12,915	2,586
その他	1,731	1,373
貸倒引当金	△686	△1,057
流動資産合計	5,144,358	5,760,039
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,103,045	4,255,734
減価償却累計額	△2,825,493	△2,895,406
建物(純額)	1,277,552	1,360,327
構築物	47,737	48,910
減価償却累計額	△17,351	△20,879
構築物(純額)	30,385	28,031
機械及び装置	1,216,405	1,243,547
減価償却累計額	△913,988	△961,486
機械及び装置(純額)	302,416	282,061
車両運搬具	17,805	17,570
減価償却累計額	△17,476	△17,569
車両運搬具(純額)	328	0
工具、器具及び備品	991,934	1,030,314
減価償却累計額	△939,753	△984,395
工具、器具及び備品(純額)	52,181	45,919
土地	675,830	675,830
有形固定資産合計	2,338,694	2,392,170
無形固定資産		
ソフトウェア	29,349	18,920
電話加入権	1,070	1,070
無形固定資産合計	30,420	19,991

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	310,078	558,995
出資金	1,167	1,167
従業員に対する長期貸付金	4,107	2,095
破産更生債権等	2,716	3,079
長期前払費用	7,702	4,358
差入保証金	5,786	5,742
生命保険積立金	44,130	44,130
繰延税金資産	1,284	—
貸倒引当金	△2,717	△3,080
投資その他の資産合計	374,256	616,488
固定資産合計	2,743,371	3,028,650
資産合計	7,887,730	8,788,690

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	68,665	54,036
電子記録債務	767,312	969,689
買掛金	252,897	164,672
1年内返済予定の長期借入金	845,192	891,838
未払金	64,549	266,096
未払費用	61,530	63,576
未払法人税等	106,858	168,669
前受金	138,145	125,547
預り金	8,173	7,802
前受収益	2,922	5,845
賞与引当金	75,054	91,233
製品保証引当金	15,753	16,874
設備関係支払手形	3,839	2,818
設備関係電子記録債務	17,533	36,550
その他	915	123
流動負債合計	2,429,344	2,865,377
固定負債		
長期借入金	1,677,767	1,510,106
繰延税金負債	—	63,293
退職給付引当金	577,499	610,436
役員退職慰労引当金	141,197	146,365
資産除去債務	16,301	16,301
長期預り保証金	511,814	498,554
長期前受収益	—	2,922
固定負債合計	2,924,578	2,847,978
負債合計	5,353,923	5,713,355
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金		
資本準備金	303,930	303,930
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	303,931	303,931
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,308,725	1,677,686
利益剰余金合計	1,308,725	1,677,686
自己株式	△29,992	△30,174
株主資本合計	2,367,664	2,736,444
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	166,142	338,889
評価・換算差額等合計	166,142	338,889
純資産合計	2,533,806	3,075,334
負債純資産合計	7,887,730	8,788,690

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,105,174	5,517,104
売上原価		
製品期首棚卸高	71,803	70,763
当期製品製造原価	3,881,543	4,114,781
合計	3,953,346	4,185,544
製品期末棚卸高	70,763	78,446
製品売上原価	3,882,583	4,107,098
不動産事業売上原価	156,889	173,901
売上原価合計	4,039,472	4,281,000
売上総利益	1,065,702	1,236,104
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	88,856	84,537
旅費及び交通費	12,280	17,661
役員報酬	81,810	73,395
給料及び手当	151,343	145,917
賞与引当金繰入額	11,584	14,047
福利厚生費	43,330	40,505
退職給付費用	13,735	14,311
役員退職慰労引当金繰入額	8,730	8,167
租税公課	27,354	29,043
通信費	7,128	7,169
支払手数料	70,182	67,136
減価償却費	41,443	23,483
研究開発費	14,319	25,033
その他	48,903	49,376
販売費及び一般管理費合計	621,001	599,785
営業利益	444,700	636,318
営業外収益		
受取利息	75	53
受取配当金	9,450	14,300
違約金収入	8,907	—
受取賃貸料	7,696	6,565
受取補償金	6,242	5,860
受取ロイヤリティー	1,485	1,665
作業くず売却益	3,830	3,840
その他	5,522	3,482
営業外収益合計	43,210	35,768
営業外費用		
支払利息	18,404	16,669
その他	570	2,102
営業外費用合計	18,975	18,771
経常利益	468,935	653,315

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	179	34
特別利益合計	179	34
特別損失		
固定資産除却損	1,433	9,791
固定資産売却損	42	—
特別損失合計	1,475	9,791
税引前当期純利益	467,640	643,558
法人税、住民税及び事業税	150,208	230,961
法人税等調整額	△35,106	△11,589
法人税等合計	115,102	219,371
当期純利益	352,538	424,186

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	785,000	303,930	0	303,931	989,322	989,322	△29,992	2,048,261
当期変動額								
剰余金の配当					△33,135	△33,135		△33,135
当期純利益					352,538	352,538		352,538
自己株式の取得							—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	319,402	319,402	—	319,402
当期末残高	785,000	303,930	0	303,931	1,308,725	1,308,725	△29,992	2,367,664

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	159,683	159,683	2,207,945
当期変動額			
剰余金の配当			△33,135
当期純利益			352,538
自己株式の取得			—
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	6,458	6,458	6,458
当期変動額合計	6,458	6,458	325,861
当期末残高	166,142	166,142	2,533,806

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	785,000	303,930	0	303,931	1,308,725	1,308,725	△29,992	2,367,664
当期変動額								
剰余金の配当					△55,225	△55,225		△55,225
当期純利益					424,186	424,186		424,186
自己株式の取得							△181	△181
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	368,961	368,961	△181	368,779
当期末残高	785,000	303,930	0	303,931	1,677,686	1,677,686	△30,174	2,736,444

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	166,142	166,142	2,533,806
当期変動額			
剰余金の配当			△55,225
当期純利益			424,186
自己株式の取得			△181
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	172,747	172,747	172,747
当期変動額合計	172,747	172,747	541,527
当期末残高	338,889	338,889	3,075,334

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	467,640	643,558
減価償却費	192,704	211,096
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	307	734
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	8,247	1,121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,163	16,179
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,523	32,937
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,980	5,167
受取利息及び受取配当金	△9,526	△14,354
支払利息	18,404	16,669
固定資産除却損	1,433	9,791
固定資産売却損	42	—
固定資産売却益	△179	△34
受取保険金	△433	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△202,872	△401,623
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△192,483	△86,217
その他の資産の増減額 (△は増加)	△485	13,518
仕入債務の増減額 (△は減少)	213,061	99,523
前受金の増減額 (△は減少)	77,945	△12,598
その他の負債の増減額 (△は減少)	△20,602	82,309
小計	589,869	617,778
利息及び配当金の受取額	9,534	14,369
利息の支払額	△18,334	△15,611
法人税等の支払額	△123,999	△171,300
保険金の受取額	433	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	457,503	445,236
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△468,232	△114,452
有形固定資産の除却による支出	△1,116	—
無形固定資産の取得による支出	△15,020	△3,663
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	1,110	2,012
預り保証金の返還による支出	△53,631	△29,047
預り保証金の受入による収入	11,411	15,787
その他	181	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△525,297	△129,285

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	930,000	762,000
長期借入金の返済による支出	△978,565	△883,015
自己株式の取得による支出	—	△181
配当金の支払額	△32,963	△54,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,528	△176,120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△149,322	139,830
現金及び現金同等物の期首残高	2,555,292	2,405,969
現金及び現金同等物の期末残高	2,405,969	2,545,800

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は真空ポンプ、ブロワ等各種ポンプの製造販売事業を展開している「製造事業」とオフィスビルを中心に不動産賃貸事業を展開している「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	財務諸表 計上額
	製造事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,452,527	652,646	5,105,174	—	5,105,174
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,452,527	652,646	5,105,174	—	5,105,174
セグメント利益又は損失(△)	△51,057	495,757	444,700	—	444,700
セグメント資産	3,736,545	1,355,708	5,092,254	2,795,475	7,887,730
その他の項目					
減価償却費	143,908	47,602	191,511	1,193	192,704
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	423,028	27,628	450,657	7,514	458,172

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現預金であります。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	財務諸表 計上額
	製造事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,876,003	641,100	5,517,104	—	5,517,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,876,003	641,100	5,517,104	—	5,517,104
セグメント利益	169,119	467,198	636,318	—	636,318
セグメント資産	4,151,062	1,465,754	5,616,817	3,171,872	8,788,690
その他の項目					
減価償却費	161,165	46,805	207,971	3,124	211,096
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	93,048	158,320	251,368	4,429	255,798

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現預金であります。

## (持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,294円05銭	2,784円49銭
1株当たり当期純利益	319円18銭	384円06銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(千円)	352,538	424,186
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	352,538	424,186
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,104	1,104

## (重要な後発事象)

## 重要な設備投資

当社は、2024年5月13日開催の取締役会において、次のとおり設備投資（固定資産の取得）を実施することについて決議しました。

## (1) 設備投資の理由

生産性向上並びに就労環境改善のため、空調設備のある温度管理が可能な工場を2棟建設します。高い精度が必要な部品加工及び組立のスペースを増やし生産性向上を図ります。具体的には、工場南東の立体駐車場（賃貸）及び倉庫等を取壊し、機械加工棟を建設します。空調設備のない既存工場の一部を取壊し、機械組立棟を建設します。新築する建屋面積は約4,000㎡であります。

## (2) 設備投資の内容

対象資産の名称	本社玉川工場
所在地	東京都大田区下丸子
投資予定額	約18億円
資金調達方法	金融機関借入及び自己資金
今後の予定	2025年より建物解体及び建屋建設を順次進め、2027年に機械加工棟、2028年に機械組立棟の稼働を予定

## (3) 今後の業績に与える影響

当該設備投資による2025年3月期の業績見通しに与える影響はありません。